

特長・ポイント

堤防上に設置する場合、突起部以外を堤防内に設置する場合、また用地境界の位置に対応した断面が可能です。

亜鉛-アルミニウム合金メッキ鉄線（φ8mm）により法面および平場部を格子状に連結させることで、フレキシブルな群体構造としております。

上端部および平場部端部にすり付ブロックを使用することで、越流水による上端部の堤防侵食を低減し、平場部端部の流水作用による鉛直方向の侵食を抑えることができます。

透水係数 $1.0 \times 10^{-1} \text{cm/s}$ 以上のポーラスコンクリートであるため、雨水や浸透水の滞留を防ぐことができ、碎石層および水抜き穴は必要ありません。

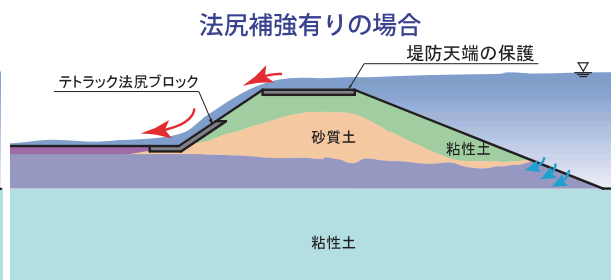
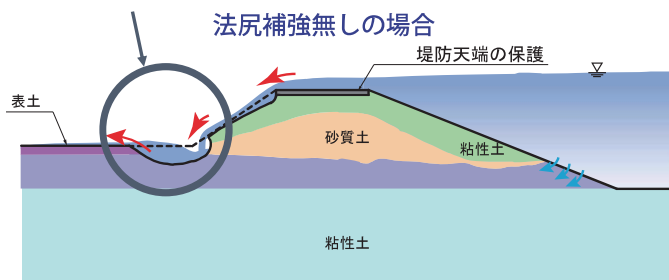
堤防法尻基礎ブロックやすり付ブロックを使用することで、現場打ちコンクリート打設が不要となり、延長方向に進みながら施工が可能で工期が短縮できます。

表面は菱形突起（8cm・5cm）とし、越流水の流速を低減することができます。

危機管理型ハード対策、粘り強い構造の堤防の整備

●堤防裏法尻の補強

裏法尻をブロック等で補強し、越水した場合には
深掘れの進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす。

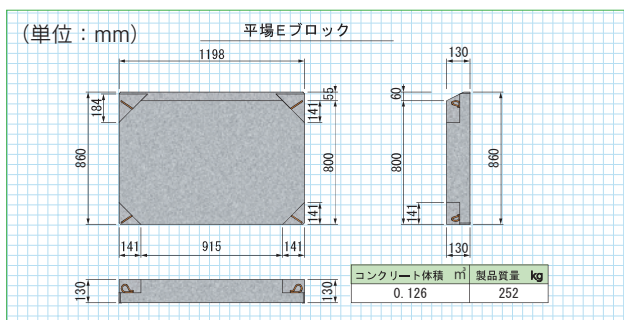
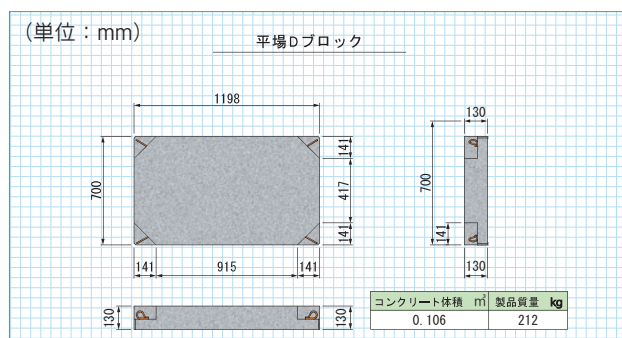
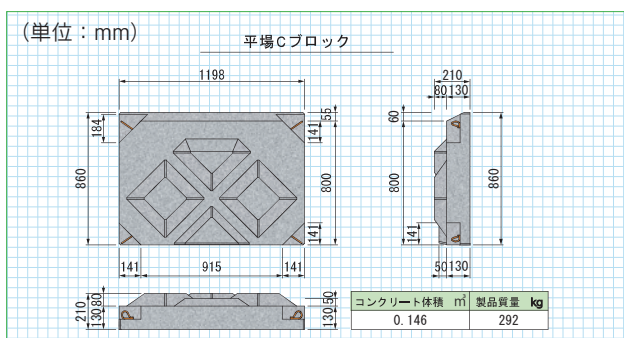
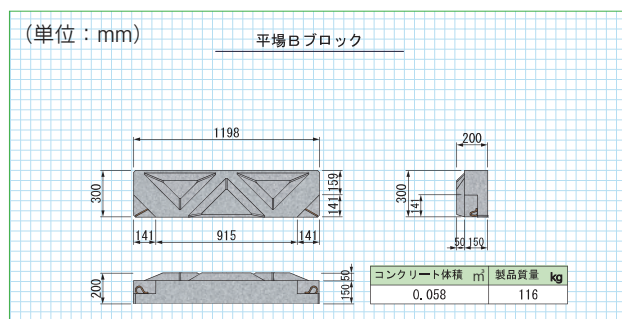
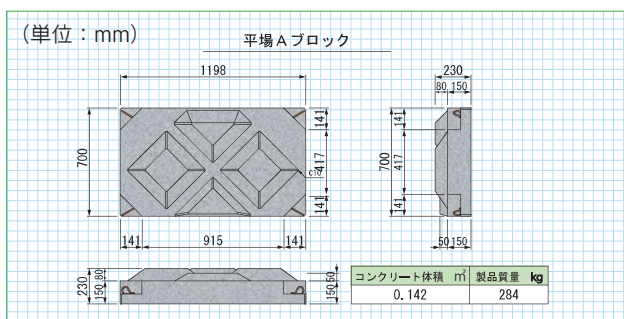
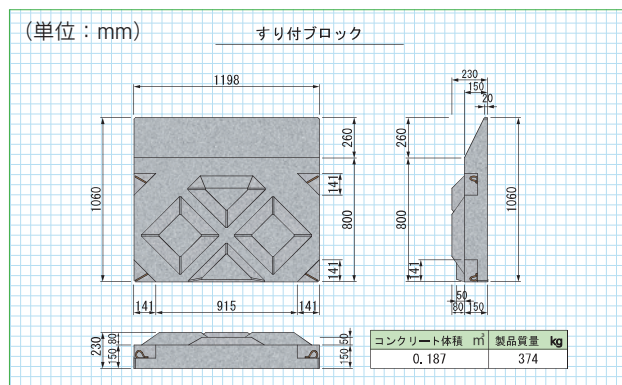
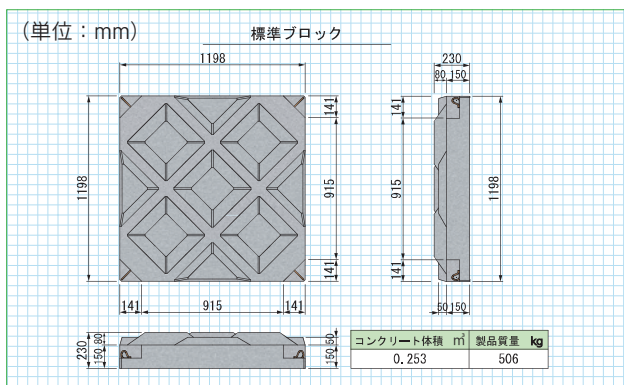


施工写真

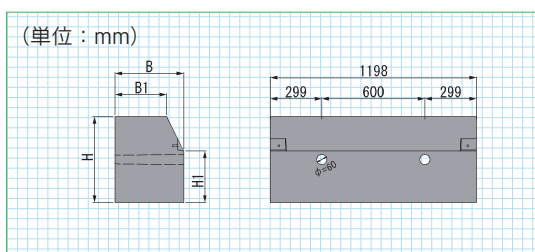


製品寸法図

■テトラック法尻ブロック 単体図



■堤防法尻基礎ブロック 単体図



呼び名	体積 (m ³)	参考質量 (kg)	寸法			
			B	B1	H	H1
400型	0.225	483	400	300	500	300
500型	0.285	612	500	400	500	300
500-400型	0.212	456	500	350	400	100